

変動型最低制限価格方式の算定方法について（令和6年4月1日改正）

○算定方法

- (1) 有効な入札の数が「7」以上の場合。
 - (ア) 有効な入札の数の60%を算定数（小数点以下切り上げ）とする。
 - (イ) 最低記載金額の入札を除き、入札金額の低いほうから算定数分の入札について、入札平均額（小数点以下切捨て）を求める。
※最低記載金額の入札が複数ある場合は、そのうち1者だけを除き、残りは入札平均額の算定対象とする。
 - (ウ) 入札平均額を1,000円未満切捨てした額を最低制限価格とする。

- (2) 有効な入札の数が「6」の場合。
 - (ア) 算定数を5とする。
 - (イ) 入札金額の低いほうから算定数分の入札について、入札平均額（小数点以下切捨て）を求める。
 - (ウ) 入札平均額を1,000円未満切捨てした額を最低制限価格とする。

- (3) 有効な入札の数が「2」から「5」の場合
 - (ア) 有効な入札のうち、最も低い入札金額を最低制限価格とする。

※有効な入札とは、予定価格を超えない入札、契約規則等で定める無効入札要件に該当しない入札をいう。

変動型最低制限価格の算定例

■ :算定対象者

(単位:円)

		ケースA (6者参加)	ケースB (7者参加)	ケースC (10者参加)	ケースD (16者参加)
入札参加者の入札金額・低い順	1位	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,500,000
	2位	10,200,000	10,200,000	10,100,000	10,500,000
	3位	【落札】10,800,000	10,300,000	10,500,000	10,500,000
	4位	11,000,000	【落札】10,500,000	【落札】10,800,000	11,000,000
	5位	11,000,000	10,700,000	11,000,000	11,500,000
	6位	11,200,000	10,800,000	11,000,000	【落札】12,000,000
	7位	—	11,000,000	11,100,000	12,100,000
	8位	—	—	11,200,000	12,200,000
	9位	—	—	11,250,000	12,400,000
	10位	—	—	11,300,000	12,500,000
	11位	—	—	—	12,500,000
	12位	—	—	—	12,500,000
	13位	—	—	—	12,600,000
	14位	—	—	—	12,700,000
	15位	—	—	—	12,750,000
	16位	—	—	—	12,800,000
予定価格		11,500,000	11,500,000	11,500,000	13,000,000
算定数		5者	$7者 \times 0.6 = 4.2 \div 5者$	$10者 \times 0.6 = 6者$	$16者 \times 0.6 = 9.6 \div 10者$
対象者の平均額		10,600,000	10,500,000	10,750,000	11,720,000
結果		3位落札	4位落札	4位落札	6位落札
		1~2位失格	1~3位失格	1~3位失格	1~5位失格

計算例(【ケースD】の場合)

- 算定数 = $16 \times 0.6 = 9.6 \rightarrow 10者 ※1$
- 最低金額入札者3者のうち1者のみを除き、金額の低いほうから10者で平均額を算定。
 平均額 = $(10,500,000 + 10,500,000 + 11,000,000 + 11,500,000 + 12,000,000 + 12,100,000 + 12,200,000 + 12,400,000 + 12,500,000 + 12,500,000) \div 10$
 = $11,720,000 ※2$
- 最低制限価格 = $11,720,000 ※3$
- 結果: 1から5位は「失格」、6位が「落札」

※1: 小数点以下がある場合は切り上げ

※2: 小数点以下切捨て

※3: 1,000円未満切捨て